

麻しん風しん定期予防接種の接種率が低下しています！
麻しん風しんワクチン(MR ワクチン)の定期予防接種未接種の方は
かかりつけ医に相談の上、早めに接種を受けるようにしましょう！！

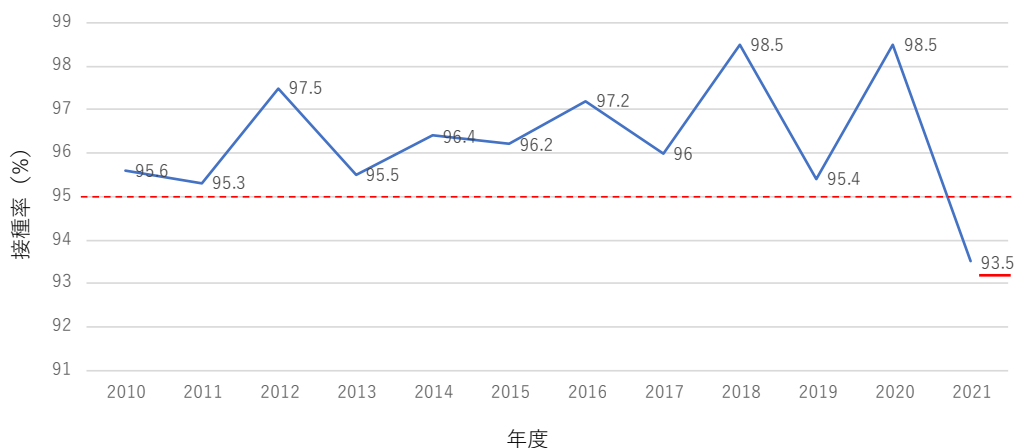
麻しん（はしか）は発熱と発疹を主症状とする感染力の強いウイルス性疾患で、肺炎や脳炎を合併することがあり、発症すると 1,000 人に一人が死亡する重症化しやすい感染症です。現在国内での麻しん発生は低く抑えられていますが、海外には麻しんの流行がコントロールできていない国があり、輸入感染症として国内に持ち込まれるリスクは常に存在しています。

麻しんを予防するために、麻しん風しんワクチン（MR ワクチン）の定期予防接種が実施されています。1 歳以上 2 歳未満で 1 回（I 期接種）、5 歳以上 7 歳未満（小学校入学前の 1 年間）で 1 回（II 期接種）の計 2 回の接種が、定期予防接種として定められていますが、これまで 95%以上の高い接種率が得られていた I 期接種の接種率が、2021 年度は 93.5%と低下してしまいました（<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/hashika.html>）。麻しんに対する集団免疫を維持し、2015 年以来続いている日本の麻疹排除状態を維持するためには、少なくとも I 期接種の接種率を 95%以上に保つ必要があります。2021 年度そして 2022 年度に I 期接種の対象となっている小児で、MR ワクチン未接種の方は、かかりつけ医に相談の上、早めに接種を受けるようにしましょう。

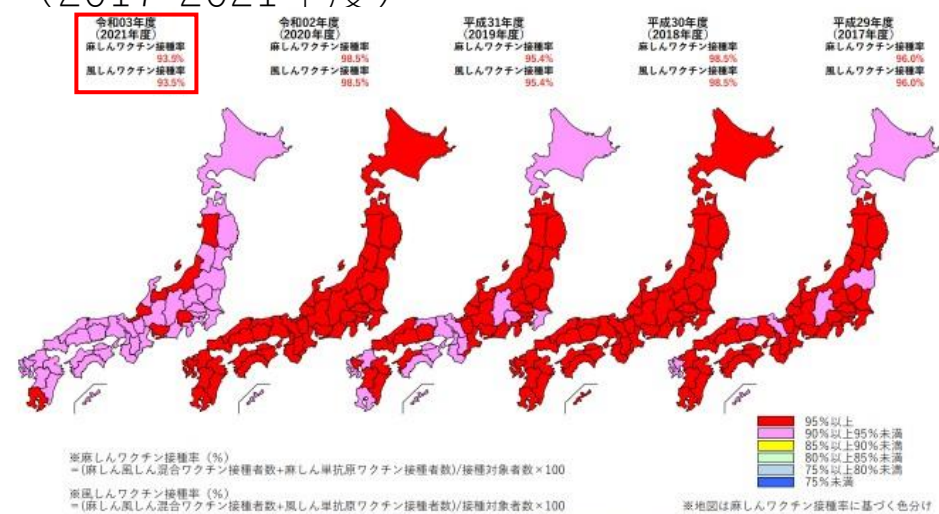
また II 期接種は、長期間有効な免疫を確実につけるために必要ですので、こちらも未接種の方はかかりつけ医に相談し、早めに接種を受けるようにしてください。II 期接種の接種率はこれまで 95%に満たない状態が続いていますが、I 期接種と同じく 95%以上の接種率を目指す必要があります。

2023 年 3 月 22 日
予防接種推進専門協議会

第1期 麻しん風しんワクチン接種状況 (2010-2021年度)



第1期 麻しん風しんワクチン接種状況 (2017-2021年度)



<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/hashika.html>